

## 平成 29 年度学長の業務執行状況の確認について

平成 30 年 3 月 15 日

帯広畜産大学長選考会議

学長選考会議は、帯広畜産大学長の業務執行状況の確認に関する申合せ（平成 29 年 3 月 9 日学長選考会議決定）第 3 項に基づき、下記のとおり平成 29 年度学長の業務執行状況の確認を行った。

### 記

#### 1. 経過

##### (1)第 33 回（平成 29 年度第 1 回）学長選考会議（30.1.15）

平成 29 年度学長の業務執行状況の確認の実施方法、スケジュールについて検討を行い、平成 30 年 3 月 15 日第 34 回学長選考会議において実施することとした。

##### (2)第 34 回（平成 29 年度第 2 回）学長選考会議（30.3.15）

平成 29 年度学長の業務執行状況の確認について、以下の資料に基づき、学長ヒアリングを実施した。

- ・学長候補者の選考基準
- ・平成 28 事業年度に係る業務の実績に関する報告書
- ・平成 28 年度に係る業務の実績に関する評価結果
- ・平成 28 年度監事監査報告書

#### 2. 確認内容

○学長候補者の選考基準への対応について

##### (1)国際通用力を持つ獣医・農畜産分野の教育機能の強化

平成 32 年度の欧州獣医学教育認証を取得することを目指した取り組み（教育体制の整備、カリキュラムの改善等）を着実に実施していることを確認した。

##### (2)獣医・農畜産分野における世界水準の研究の推進

獣医学及び農畜産学分野において世界水準の教育研究活動を展開するため、米国コーネル大学及びウィスコンシン大学との学術交流協定に基づき、本学の国際共同研究推進施設「グローバルアグロメディシン研究センター」を中心に両大学との教育研究交流を推進していることを確認した。

### (3)教育研究を通じた国内および国際社会への貢献

国境を越えた農作物・食品等の流通拡大を背景として企業等に求められている国際安全衛生基準の取得・維持に対応できる人材を育成するため、大学内に国際基準適応の実習施設群を構築するとともに、同施設を活用した食品安全マネジメントシステム教育に取り組んでいることを確認した。

### (4)学内の状況および社会の動向に応じた的確な大学運営

大学運営に関する情報共有・意思決定システムの強化、教員の人事評価の厳正化を一層推進するため、教員所属組織である「研究域」の研究部門を現行の7部門から4部門に改編して部門長の権限を強化するとともに、役員のみならず各部門長等が教員人事評価に関与する体制を構築したことを確認した。

## ○学長候補者の所信への対応について

### (1)獣医学教育の国際認証

平成32年度の欧州獣医学教育認証を取得することを目指した取り組み（教育体制の整備、カリキュラムの改善等）を着実に実施していることを確認した。

### (2)獣医・農畜産融合教育研究における国際連携と企業連携

獣医学及び農畜産学分野において世界水準の教育研究活動を展開するため、米国コーネル大学及びウィスコンシン大学との学術交流協定に基づき、本学の国際共同研究推進施設「グローバルアグロメディシン研究センター」を中心に両大学との教育研究交流を推進していることを確認した。また、社会のニーズが高い実践的共同研究を推進するとともに企業等の実務家教員による講義・実習を強化するため、地域連携推進センターのインキュベーションオフィスにおいて企業の入居を推進するとともに、大学院畜産学研究科において企業の実務家教員等によるオーダーメイド型実務教育を推進していることを確認した。

## 3. 確認結果

学長選考会議は、平成28年度学長の業務執行状況の確認についてヒアリング等を実施し、上記確認内容のとおり、学長の業務が着実に執行されていることを確認した。